

190122 名古屋城説明会(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

19:13

司会:熱田、中で説明してきた

はじめての方を優先したい

ながお:名古屋城検定 中級受かった 上級落ちた

完全に修復 現代の科学、情勢について出てくる

完全修復はどこまでが完全修復かわからない

画面が出たが、画面が暗い

証明が一つもない。

付属品として、LED照明をつけてよいのではないか

石垣修復は、完全江戸時代修復は時間がかかるし、技術は竹中優秀

中にコンクリート、鉄筋入れて作ると思う

江戸時代は栗石入れて 地震の時に揺れて下がってくる

それは完全に修復することだと、文化庁の許可は

歩み寄りをしていると思う どうなのか

一番の状態は、なんとか楽に天守閣最上階に行けるようにしてほしい

対抗馬として、姫路城には負けたくない

名古屋は観光都市にしてほしい

司会:時代に合わせて変えていく必要があるのでは

LED

石垣積み方

最上階まで人が行けるように

名古屋市:史実に忠実 進めていく

そればかりではだめ

画面で説明したが、5ページ 新たな付加する現代技術

防災設備、バリアフリー

現在技術を取り込むことで

文化庁が定める基準でないと復元ができない

名古屋市:石垣の修復

特別史跡 本質的な価値を構成する一つ

地震等で崩れる可能性は否定できない

今回事業 過去の地震履歴 変状をきたしているか史資料調べて解析

楽に天守閣登りたい

基本的には木造階段 今名古屋市としてはエレベーターを設置せず、
新しい技術で昇降してもらおうとしている

現時点では示せないが、今後国内外募集する

川口: 技術的なお話を聞きたい

これからどれだけ熟練職人を確保するか 可能か

熊本の城行った ボランティア 石垣修復の話聞いた

年数を聞いた 職人が少ない

どれくらいの職人を確保しているか

神社仏閣 相当の年数、職人を必要としている

何年か間に集めて新しくできる可能性はあるのか

地震に対するシミュレーションは終わっているのか

画面で出てきていない

いざ地震が起きた時に、どれだけの状態になるか

説明してもらわないと、名古屋城が名古屋市民の誇りとは言えない

司会: どれだけ職人確保できるか

目標年次可能か

地震シミュレーション可能か

竹中: 職人 施行条件に合わせて全国から集めて対応するつもり

石垣 どのような形で修復するか決まっていない 決まったら集める

木造 伝統的な宮大工+新しい最新施工技術で工程的な満足を

会場: 不誠実だ

司会: 答えてから

竹中: 地震のシミュレーション

木造加工について、シミュレーションを進めている

ボーリングを実施していない

想定した地震でのシミュレーションをしている

竹中: 世間で懸念されている

マグニチュード7~8

震度は6強から7

会場: 7はなっていないよね

地震動の加速度 震度に換算して7に換算して
震度6相当

建築基準法 震度いくつではなっていない

会場:現状の建築基準法でやっているか

中小地震に対してやっている

竹中:解析は行っている

司会:不規則発言はやめて

まってほしい

そういう回答の仕方

抑えてください

まだ発言していない人

瑞穂区の川崎:はじめてきた

質問者 高いレベル 質問者に感心している

無責任なことを作るとは思えない

前に進まない

決めたのなら、河村市長はもっと進めてほしい

極端なこと「完全な復元だ」お城って一般人入っていない

極論言っている 今の技術で7だ8だ9だ 答えられない

市民の普通の感覚だ

私の感想だ

質問にはなっていない

司会:特にいいですね

会場:河村市長はじめ、竹中 まことにありがとう

感謝している

世界に誇れるお城

空襲で燃える前から世界一 立派なお城

創った過去の武士 木材としてはヒノキ

立派な松 感謝する

理屈を言ったらきりがない

前向きに善意に解釈 ポジティブに

エレベーターも 様になりません 不可

エスカレーターを木で メタリックを出さずに

健常者も障害者も利用できるように

いろんな施工があると思う
上まで上り詰めるのはエスカレーターがベターだ
竹中工務店の力量で克服できます
竹中工務店、清水建設 どこにも負けない
リニアも通る。世界の中央
健全者を含めてエスカレーターを 木造にあうような

司会: 意見 世界一誇れる城を
エスカレーターを 木造のようなものを

市: 貴重な意見ありがとう
木造天守閣の付加設備の方針 エレベーター設置せず
新技術は国内外から幅広く募集する
もしエスカレーター作っている企業から提案があれば検討する

会場: 竹中 職人さん 相応の手当て
不誠実だと言ったかといったら、去年も名古屋市の説明会
名東区にお邪魔した
木は手を手当てするのか？答えがなかった
大木を切った
市民の税金を使っている
別のものを使ってほしい
分かっていることを誠実に説明してほしい
熊本は震度7 それ以上でなければ、壊れるものを作るのか
東区に住んでいる 久屋大通で懲りている
市、業者も説明しない
何にも公開しない 税金を使っている
不誠実だったら不誠実で、市民で城を作りたいという人が減る

司会: 現時点でどうなっているか
誠実に

竹中: 現時点では、名古屋市とは、木材の調達部分のみ契約している
木材についてはお約束した部分 5割以上集めている
業者があら製材 検品している
それ以外は契約していないので、ここでは差し控えたい

竹中: 契約していないからしていない

竹中: あてはあるが、ここで具体的には話せない。

契約していないから

会場: 私はネガティブなことを聞きますけれども、それは名古屋城を愛しているからです。前のものもそうだし、今の名古屋城もそうです。数字に関して聞きますので、一つは竹中さんに、一つは名古屋市の担当者に、数字ですから市長さんはいいです。いつもよく話しているから。

400年前に作られた立派な西南隅櫓が今公開されていますけれども、びっくりしたのは収容人員が全体で45名、3階の一番上の所は、スタッフを含めて9名。ずいぶん待たされ、で定員9人の理由を中消防署に聞いたら、「消防法の規程から、3階の木造建築物で階段が一つしかない場合は、10名以上入場する時は避難器具が必要だと。設置が難しいから9名制限にした」とそういう回答がきました。

http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=336CO000000037#388

でね、計画中の木造天守閣は地下1階地上5階ですね。5階に上がる階段は1つだけ。普通考えると木造3階建てよりも木造5階の方が、危険に決まっていますわね。

で、竹中工務店聞きます。現在の計画では、5階に1度に上がれるのは最大何人ですか。当然押さえていますよね。その法的根拠はなんですか。避難器具をどこに付けるんですか。去年7月(19日)の天守閣部会における資料では、1時間に2500人の来城者で在館者密度というか、ようわからんけど、均一にすると、最上階には136人、136人ですよ、そういうふう試算したとかいてあります。「スタッフによる入場制限」の計画があるのかもふくめて、答えて下さい。

<http://www.nagoya.ombudsman.jp/castle/180806-1.pdf>

次に名古屋市の担当者に質問。1日、1時間あたりの平均入場者数、最大入場者数をどのくらいと見込んでますか。その場合、入場料収入と収支計画を答えて下さい。ちょっと難しいかもしれませんが、当然押さえていると思います。私がこんな質問をするかという、このでっかい名古屋城、木造天守。私はね、危険な違法建築だと思います。ここに、不特定多数の人をいれるということ。各階平均500人入れる。非常用エレベーターも避難階段もない。火事が起きたらね逃げ場がないんですよ。あの狭くて急な階段に人が殺到したら大事故になります。そういうことを心配しています。ネガティブかもしれんけれども、そういうことを心配しています。答えて下さい。

司会: 5階最大何人入る計算は

法的根拠云々

市平均入場者数、最大入場者数は

竹中: 今のご質問でございますが、確かに5階建ての大規模な木造建築ということで、当然建築基準法の適用除外を受けるというご説明は今日のプレゼンテーションでもあったと思います。そういった中で、日本で初めてこういったところでの避難安全について、どういうふうに解決していくかということ、やはり日本を代表する避難安全検証に関する有識者の先生からですね、こういった避難時間の中で、全員が避難できるよう、中には燃え草をですね、極力いれない。さらには消防設備としてのスプリンクラー、ないし消火栓。やはりそういったものをですねパッケージにした上で、安全かどうかということですね確認していただいております。

人数につきましては、おおむね2500人時間当たりですね、想定して、仮に火災が起こった時にも、今2本ある階段の中にですね、区画を防煙区画という区画を設けまして、その中、その階段を使って下に避難していただくと。

かつですね、消防隊のかたが避難に駆けつけるときには、例えば弱者だとか、身体の弱い人を階段の区画の中で待避していただき、すみやかに消防隊が避難・救出をします。

実際に火災が起こったときに、煙が建物の中にどういう形で充満していくか、そういったシミュレーションもさせていただいて、そういった諸々の検証を有識者先生方と協議した上で、今の安全性は確保していくという方向性で、最終的な認定を取るという形になります。

やはりこれはいままでの日本のですね建築の中に、一般的な建築基準法、消防法、そういったものですね、整理ができないジャンルの建物になるものですから、やはり先生方とですね、そういった協議を積み重ねながら、実施していくということでございます。

そしてですね、5階の人数でございますが、これもあの階段が1本のもので、ご指摘のようにここは人数制限というような、ソフト面ですね対応をした上で、避難をですね整理していこうというふうに考えています。

たしかそのとき若干その人数が私その記憶が少し飛んでいるところもあるんですが、おおむね100人程度というところですね先生方とは話をさせていただいているということでございます。

今回の名古屋城というのは、非常に平面的にですねご承知のように大きな建物でございますから、収容人数も多いんですけども、そういった方がいかに避難時、非常時にすみやかに逃げるかということですね、具体的なシミュレーションを検証して頂いた上で、チェックしていく、ということでございます。

会場: 根拠法？それから避難器具

司会: いや、すみません、

会場: 根拠法

司会: 認定と言われた

竹中:それは建築センターからですね、そういう防災関係の先生方からですね、招集されて、中身について検討して頂き、現行の消防法、建築基準法以上のもので、性能を有しているというように判断していただけるべくご協力いただいていると。

避難器具についてはですね、避難器具のための、例えばスプリンクラー＋避難消火栓という。これは消防法以上のもので、ものを設置することによって、そういった避難器具の減免をしていこうということで今協議を進めさせているということでございます。

司会:それで次 平均 最大

市:今竹中工務店さんの方から説明がありました。そういった防災の関係の評定を取るということを進めている中で、今の我々が計画しています木造復元の中で、1時間当たり最大2500名、2500人の方が入るという前提でそういった避難の関係の検討をしているところでございます。ですので1日当たり約20000人を最大ということで想定をしているということでございます。

司会:あと2-3人

不規則発言が多い

3人をお願いする

4人 3人でないと時間がオーバーする

会場:まず、虚偽はいいなさんな

有識者が建築審査会

うなずけばOKではない

法的根拠答えていない

およそ100人

石垣危険だよ

石垣深いから、石垣に空洞があると報告を受けているよね

工学的に解析するといった

石垣を工学的に解析するとはどのような方法はない

ありません

あるようにいうのは虚偽

入場者推定も嘘っぱち

人口 推計結果を根拠

根拠データ 最終の年月日 2066年までしか推計していない

この数字 それ以降も推計している

根拠はなんですか

この人口推計では、2066年に60%に減ると言っているが、入場者数が変わらない
うそばかり

司会: 100人の法的根拠は
石垣の工学解析はあるのか
2066年以降の人口は

竹中: 建築基準法で評価できないものがある
避難安全検証 防災評定を受けて、大臣認定を取ればよいというルール

市: 石垣空洞があるのではないか
私たちは空隙はないと考えている
工学的解析 安定性検証 安全確保のなんらかの

会場: こたえていない

市: 工学的解析というのは

会場: だれが

市: 解析の方法は日本全国で有識者がやっている
モデル 解析
石と石を組み合わせたもの 解析は現実的には難しい
おっしゃる通り
あるモデルの仮定の下で解析 相対的な判断はできると聞いている

会場: ないんだらう

司会: が間違っている

司会: 失礼だ

会場: 回答をしていない

市: 入場者数見込 人口減少 ベースのないことはある
社会状況の変化 外国人観光客の増加

会場: もう一回確認したいが

司会: 次の人

会場: あなたじゃま

司会:説明した

会場:平成77年まで

会場:端的にいうが、1点目

御殿 寛永期

城 宝暦期

このずれ 去年あった

この辺の整合性 市の方

もう1点 今の話 1日20000人

採算が取れるのか シミュレーション

なりたつのか

今回上物の再建はしているが、ケーソンの上

ケーソンの上 再建と言っていいのか

石垣の上に立っていないといけなくないか

司会:時期のずれ

事業採算 2万人あうのか

基礎としてのケーソン

西野:ご指摘の通り、本丸御殿寛永期、城は宝暦期

名古屋城の整備に当たって、江戸期の風致を味わってもらいたい

そういった中で、史実に忠実がわかる

宝暦前はわかりにくいところがある

宝暦以降がわかる

有識者の方々のご意見を聞いて臨んでいる

有識者 寛永期が適しているとした

名古屋城全体としての統一性は図りにくいが、有識者にはかっている

入場者推計 多いときに452万人、その後360万人程度で推移する

オープン後 361日

1日2万人入ると700万人入る

多い日ばかりではない

上記の人数は対応できると考えている

竹中:ご指摘の通り、名古屋城の木造天守は石垣に荷重がかかっていた

今は荷重がかかっていない

どう作っていくか

現代的な技術も取り入れながら、いかに史実に忠実にするか
有識者に聞いている
最終的に許認可できるかは文化庁のジャッジメント
設計を進めている

瑞穂区の荒川: なんとか木造で早くやってほしい
意見を述べたい
いろいろあります。城は上りにくい
障害者が登るのは大変
そういう人も登ってもらって、戦前は名古屋の市民の誇り
今もそうかも 今鉄筋はインチキ
国宝を復元する 入場者数以前 日本のレガシーなんだ
僕はそう見たい
市長が無理やりかもしれないが、進めたいのは感じている
1つだけ エスカレーターは難しい
やるとなれば、ゴンドラで結ぶとか
傷つけたくない
よろしく

会場: 議論が沸騰したがご苦労さま
文の象徴 本丸御殿 飛躍的に入場者が増えた
最後武の象徴 天守閣ですね。
武の象徴 木造で復元するのはすごい発想
やってほしい
いまだかつてない事業
木造 忠実に復元する
ぜひとも観光都市名古屋を世界に発信するためには
本丸御殿を木造復元することは、これ以上はない
燦然と金のしゃちほこが輝く
市長の想いをバックアップしてほしい
私が最後 市長の熱意を披露してほしい

20:06

司会: 司会進行でまどって6分ほど伸びた

賛成・反対であろうが気持ちよく質疑してほしい

最後に河村市長がご挨拶

河村:熱意 今の時代を生きている

引き継ぐべきなのか

僕は、かつて国宝1号だった 名古屋の生活は苦しかったと思うが、

金のしゃちほこ見て誇りに思った

その図面をたまたま残してもらった

名古屋城しかない

1000年2000年引き継いでいく

今を生きる僕たちの使命ではないか

御指名があったので

サンキューベリーマッチ